



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 1 月 31 日(日)
上町 & 四日市の防災交流会 編

1 月 31 日(日)、新年初の防災交流会を行いました。前日はまち灯りに使用する廃食油のろうそくづくりを子供達と一緒にし、この日は、いつもお世話になっているNPO法人常盤ときめき隊の野村マスさんが自治会長を務める四日市自治会におじゃましました。この 2 日間で本当に多くの人達との出会いを体験することができました。

この交流会は、10 月の上町自主防災訓練に野村さんが参加して下さったことで非常食づくりに興味を持って頂き、お互いの自治会の交流を通して災害時の対応を学ぼうということから開催につながったものです。

四日市自治会は 60 世帯と上町と同規模ですが、昔からの近所付き合いが今も残っており、地域コミュニティーが充分機能している模範的な地域と言えます。この日は 35 人が参加して下さい、感激でした。

四日市に到着してまず驚いたことは、あまりにも立派で機能的な自治会館だったこと。そして、隣には「四日市消防分団」と書かれた防災倉庫が有り、有事の際にも迅速な行動が取れるであろうことが予測でき、3 畳ほどの小さな観音様しかない私達の自治会にとって、羨ましい限りの環境でした。自治会には佐々木松夫さんを筆頭に社会福祉や消防署など行政に関わる方々が多く、知識を十分に活かしながら地域貢献をされている姿がとても頼もしく見えました。

非常食作りに使用する炊飯袋(ハイゼックスシート)は社会福祉協議会のご協力で日赤の袋を使わせて頂き、とても助かりました。いつもと違った種類の物を使用することで私達の学びともなりました。

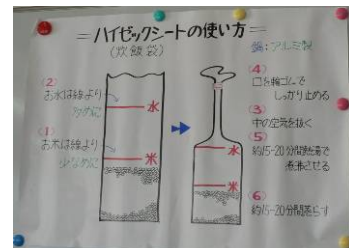
この日のメニューはカレーピラフ、ご飯に漬物のみじん切りやわかめご飯の素を利用した混ぜご飯、お粥で、大変美味しいと皆さんに言って頂きました。また、四日市自治会の皆さんが作って下さった豚汁が最高に美味しくて、みんなで楽しいおしゃべりをしながら、被災しても、何だか幸せな気分ですごく過ごせそうな気がしたひと時でした。

ここには毎年、九州から大学生が合宿に訪れるとか。おもてなしの心は誰にも伝わるものなのだとなつ得し、「私達も見習おうね」と話しながら、すみれ会4人で帰ってきました。いつものように、野村さんお手製のオリジナル麦巻きと紫いも大福をお土産にいただきながら…。感謝、感謝。

文：能登 祐子



いつものように赤いベストのすみれ会が各テーブルに入って、一緒に避難食作りを行いました。



作り方手順を貼りだしていつでも確認できるようにします。お鍋の中には色とりどりのご飯が出来上がりました。



ご飯ができるまでの間には、消防署の方から火災報知機の屋内設置についての説明がありました。